



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月12日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5837)3611
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	928	63.7	62	—	58	—	46	—
2021年2月期第1四半期	567	—	△63	—	△59	—	△61	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	26.20	24.96
2021年2月期第1四半期	△34.63	—

(注) 当社は、2020年2月期末より非連結での業績を開示しております。
 そのため、2021年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	1,549	375	24.2
2021年2月期	1,425	329	23.0

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 374百万円 2021年2月期 328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,276	19.0	100	168.3	87	116.6	60	—	34.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年2月期1Q	1,970,000株	2021年2月期	1,970,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年2月期1Q	193,667株	2021年2月期	193,667株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年2月期1Q	1,776,333株	2021年2月期1Q	1,776,333株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、2021年1月—3月期の四半期別GDP実質成長率がマイナスに転じておりますが、企業収益は、新型コロナウイルス感染症による業績への影響度合いが軽減されてきており、雇用情勢は、完全失業率が減少する傾向にあります。一方で、有効求人倍率は低水準に留まっており、また個人消費は、実質消費支出額が減少するなどしております。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業及び飲食事業となっております。当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

当事業のバイク買取台数は3,016台（前年同期比11.5%増）、販売台数は2,896台（同20.9%増）となりました。業者間オークションの相場は好況であり、小売販売も好調であったことから、売却単価は前年同期比15.4%増、粗利単価は同27.0%増となりました。また、販売費及び一般管理費は、人件費は前年同期比3.6%増となりましたが、買取りに係る広告費は同24.4%減となり、その他の費目は金額的には横這いで推移しました。

バイク事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高712百万円（前年同期比39.6%増）、セグメント利益83百万円（前年同期はセグメント損失24百万円）となりました。

(フィットネス事業)

当事業のエンタイムフィットネス及びステップゴルフの各店舗数の増減はありません。前第1四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、4月中旬から5月末日までの期間を休業いたしました。当事業年度は休業要請対象外となりましたので、休業期間はありませんでした。その結果、売上高は大幅に増加しました。

フィットネス事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高101百万円（前年同期比79.5%増）、セグメント利益9百万円（前年同期はセグメント損失39百万円）となりました。

(飲食事業)

当事業は、2020年9月にワタミ株式会社との間で「から揚げの天才」のフランチャイズ契約を締結して開始しました。当第1四半期累計期間において新たに3店出店し、当第1四半期累計期間末時点では7店舗を運営しております。

飲食事業の当第1四半期累計期間の業績は、新規出店費用等が発生したことにより、売上高114百万円、セグメント損失31百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は売上高928百万円（前年同期比63.7%増）、営業利益62百万円（前年同期は営業損失63百万円）、経常利益58百万円（前年同期は経常損失59百万円）、四半期純利益46百万円（前年同期は四半期純損失61百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末において総資産は1,549百万円となり、前事業年度末と比較して124百万円増加しました。主な要因としては、バイク事業の買取台数が好調に推移したことにより商品が57百万円増加したこと、飲食事業の店舗数増加に伴い有形固定資産が45百万円、投資その他資産が20百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末において負債は1,173百万円となり、前事業年度末と比較して77百万円増加しました。主な要因としては、社債の発行により1年内償還予定の社債を含む社債が150百万円増加し、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が61百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末において純資産は375百万円となり、前事業年度末と比較して46百万円増加しております。これは、四半期純利益46百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間末の現金及び現金同等物は762百万円（前年同期末は478百万円）となっております。当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は10百万円（前年同期は支出した資金14百万円）となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前四半期純利益58百万円及び減価償却費10百万円の計上であり、支出した資金としてはたな卸資産の増加額57百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は83百万円（前年同期は支出した資金0百万円）となりました。主な要因は、支出した資金としては飲食事業の店舗に伴う有形固定資産の取得による支出55百万円、差入保証金の差入による支出27百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は81百万円（前年同期は支出した52百万円）となりました。主な要因は、得られた資金としては社債の発行による収入144百万円、支出した資金としては長期借入金の返済による支出61百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月12日に公表いたしました業績予想数値からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	759,853	768,493
売掛金	47,489	46,643
商品	220,018	277,795
貯蔵品	2,014	2,014
前払費用	41,325	42,007
その他	7,139	323
流動資産合計	1,077,841	1,137,278
固定資産		
有形固定資産	188,181	233,193
無形固定資産	10,877	10,207
投資その他の資産	148,226	168,453
固定資産合計	347,284	411,855
資産合計	1,425,126	1,549,133
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,578	26,163
1年内償還予定の社債	70,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	194,411	164,501
未払法人税等	11,487	11,962
賞与引当金	12,082	4,448
その他	122,730	125,611
流動負債合計	442,290	432,686
固定負債		
社債	205,000	325,000
長期借入金	435,084	403,575
その他	13,345	11,930
固定負債合計	653,429	740,505
負債合計	1,095,720	1,173,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	266,598
利益剰余金	△97,158	△50,622
自己株式	△73,858	△73,858
株主資本合計	328,406	374,942
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	329,406	375,942
負債純資産合計	1,425,126	1,549,133

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	567,201	928,714
売上原価	310,770	452,236
売上総利益	256,430	476,477
販売費及び一般管理費	320,008	414,439
営業利益又は営業損失(△)	△63,577	62,038
営業外収益		
受取手数料	1,314	1,320
助成金収入	4,865	4,083
その他	389	129
営業外収益合計	6,569	5,533
営業外費用		
支払利息	1,989	2,173
社債利息	295	615
社債発行費	—	5,863
その他	—	576
営業外費用合計	2,285	9,228
経常利益又は経常損失(△)	△59,293	58,343
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△59,293	58,343
法人税、住民税及び事業税	836	8,307
法人税等調整額	1,383	3,499
法人税等合計	2,219	11,806
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,513	46,536

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△59,293	58,343
減価償却費	8,591	10,350
のれん償却額	622	—
株式報酬費用	4,394	4,394
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,545	△7,634
受取利息	△7	△7
助成金収入	△4,865	△4,083
支払利息	1,989	2,173
社債利息	295	615
社債発行費	—	5,863
売上債権の増減額(△は増加)	44,360	846
たな卸資産の増減額(△は増加)	△42,649	△57,776
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,109	△5,415
その他の流動資産の増減額(△は増加)	6,293	4,004
その他の流動負債の増減額(△は減少)	36,888	3,852
その他	2,634	△1,000
小計	△12,399	14,526
利息の受取額	30	0
利息の支払額	△2,139	△3,020
法人税等の支払額	△0	△4,757
助成金の受取額	—	4,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,509	10,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△450	△450
有形固定資産の取得による支出	△133	△55,512
有形固定資産の売却による収入	—	2,368
差入保証金の差入による支出	△5	△27,594
その他	—	△2,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588	△83,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△12,501	—
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△58,745	△61,419
社債の発行による収入	—	144,136
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△455	△1,082
割賦債務の返済による支出	△486	△486
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,187	81,148
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△67,285	8,189
現金及び現金同等物の期首残高	546,122	753,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	478,836	762,042

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
(単位：千円)

	報告セグメント		合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	510,521	56,680	567,201
セグメント損失(△)	△24,365	△39,212	△63,577

(注) 「セグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	飲食事業	
売上高	712,453	101,712	114,548	928,714
セグメント利益又はセグメント損失(△)	83,526	9,769	△31,256	62,038

(注) 「セグメント利益又はセグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当社の報告セグメントは、前第1四半期累計期間では「バイク事業」及び「フィットネス事業」でしたが、新たに飲食事業を開始したことにより、当第1四半期累計期間では「飲食事業」を報告セグメントに追加しております。

(追加情報)

当第1四半期累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。